

令和 8 年度 長崎国際大学
人間社会学部 健康管理学部 入学試験問題
一般選抜 B 日程 (3 / 5)

国

語

(100 点 60 分)

注 意 事 項

- 1 解答開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は、26 ページあります。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マーク（●印）しなさい。

① 受験番号欄

受験番号（数字）を記入し該当する欄にマーク（●印）しなさい。

正しく記入されていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄

氏名・フリガナを記入しなさい。

- 4 問題は、マーク選択式と記述式があります。

マーク選択式は、解答用紙の解答欄にマーク（●印）しなさい。

例えば 10 と表示されている問いに対して③と解答する場合は、次の（例）のよう
に解答番号 10 の解答欄③の欄にマークしなさい。

（例）

解答 番号	解 答 欄			
	①	②	③	④
10			●	

記述式の解答は、指定された解答用紙に記入しなさい。

- 5 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 6 試験終了後、問題冊子は机上に残しておきなさい。

第1問

次の文章を読んで、後の問い（問1～問8）に答えよ。なお記述式の問いは、記述式解答用紙に解答しなさい。

【著作権上の理由等により非公表】

（池内了『科学の考え方・学び方』岩波ジュニア新書による）

問1 二重傍線部 a～d のカタカナに該当する漢字を、次の各群の①～④の中から一つずつ選べ。

a シュクメイ

1

- ① 先輩を前にイシュクする
- ③ 卒業式でシュクジを述べる

- ② 外出をジシュクする
- ④ 山小屋をシュクシャとして利用する

b ケイサイ

2

- ① 資料にキサイする
- ③ 野菜をサイバイする

- ② ショサイで新聞を読む
- ④ イベントをシュサイする

c キンキュウ

3

- ① 大会への参加をキンシンする
- ③ 手にサイキンが付着する

- ② キンミツに連絡を取り合う
- ④ 宗教ではキンキとされている

d トクシユ

4

① シュシヨウな態度を心がける

② 交通ルールをゲンシユする

③ 野球のトウシユとして出場する

④ 神社でシユインをもらう

問2

文中の空欄

A

B

に入る語として最も適当なものを、次の各群の①～④の中から一つずつ選べ。

A

5

B

6

A

① ただし

② つまり

③ ところで

④ とはいえ

B

① しかし

② たとえば

③ だから

④ もちろん

問3

文中には次の一文が抜け落ちている。これを文中の空欄「Ⅰ」～「Ⅳ」のどの箇所にも補えばよいか。最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

7

また、自分の頭の中に自然の一部が根つき、そこで自分だけが知っている世界を展開させることができるのです。

① 「Ⅰ」

② 「Ⅱ」

③ 「Ⅲ」

④ 「Ⅳ」

問4 文中の空欄

C

に入る、次の熟語の反義語を、漢字二文字で記入せよ。

あ

感情

問5 傍線部1「科学という仕事は、本質的に積み上げ式だといえるでしょう」とあるが、その理由として最も適当なものを次の

①～④の中から一つ選べ。

8

- ① 研究成果はいつも忘れられてしまい、後世に残る研究は何もないため。
- ② 芸術と同様に、研究成果は個々の感性に依存し、時代を越えて永遠に残るため。
- ③ 先人の研究成果をふまえ、次の研究が生まれ、新たな研究に乗り越えられていくため。
- ④ 研究者の名声は様々な場面で表現され、後世に引き継がれるため。

問 6 傍線部 2「他の分野の人と研究の進め方について議論ができる」とあるが、これはどのようなことか。最も適当なものを次の①～④の中から一つ選べ。

の①～④の中から一つ選べ。

9

- ① 自分の専門以外の分野と科学の構造は全く異なるが、他分野の研究者と意見交換することで、その違いを学び合えるということ。
- ② 自分の専門以外の分野についても、基本的な原理や法則を理解していれば、その分野の研究者と同様の立場で研究活動に従事できるということ。
- ③ 自分の専門以外の分野であっても、科学に共通する基本的な構造をふまえれば、その分野での問題点や研究の方向性について一定の意見が述べられるということ。
- ④ 科学の構造を理解することで、自分の専門以外の分野の最新研究に大きく影響が与えられるということ。

問7

傍線部3「自然と人間の行為とは決定的に異なっています」とあるが、これはどのようなことか。最も適当なものを、次の

①～④の中から一つ選べ。

10

- ① 自然の現象は人間の感情や判断に関係なく起こるが、人間の行為は個々の価値観や仕組みによって左右され、必ずしも同じ結果が繰り返されるとは限らないこと。
- ② 自然の現象は物理の法則により保証されず、人間の行為は損得で決定されるため、法則通り行動することが極めて困難であるということ。
- ③ 自然の法則はしっかりと観察すれば誰にでも見抜くことができるが、人間の行為は社会の問題に広く目配りをしておけば法則的に把握できるということ。
- ④ 自然の法則は外的条件によって自動的に生じるが、人間の行為は推理に基づいて自覚的に行動しているということ。

問 8

本文の内容に合致するものを、次の①～④の中から一つ選べ。

11

- ① 筆者は、研究の楽しみや喜びは自身が世界で初めて発見したり、自然の構造や法則を理解することで自己表現ができたりすることであると述べている。
- ② 筆者は、他分野の研究に批判を加える場合は、社会や歴史、経済に一定の法則性があることを見出した上で反論を構築するべきであると述べている。
- ③ 筆者は、科学の構造は自然現象においてしか通用せず、人間の価値観のような複雑な現象には通用しないため、歴史や経済、社会には役に立たないと述べている。
- ④ 筆者は、科学の研究は業績と名誉を保証する目的で行われているのではなく、物質の構造と運動を応用された原理や法則によって明らかにすることだと述べている。

第2問

次の文章は、小川糸の小説『ツバキ文具店』の一節である。文具店で代書屋を営んでいる「私」のところへ客として訪れた白川清太郎は、代書を依頼した。本文は、それに続く部分である。

本文を読んで、後の問い（問1～問8）に答えよ。なお記述式の問いは、記述式解答用紙に解答しなさい。

【著作権上の理由等により非公表】

（小川糸『ツバキ文具店』幻冬舎による）

問1 波線部ア、イ、ウの本文中における意味として最も適当なものを、次の各群の①～④の中から一つずつ選べ。

ア 昔かたぎ

12

- ① 古風な考えを持つ性格
- ② 反抗的な態度
- ③ だらしない姿
- ④ 虚らかな目つき

イ 臆面もなく

13

- ① 恥じらいがない
- ② 笑みがない
- ③ 偽りがない
- ④ 責任がない

ウ 通り一遍

14

① まれである

② 複雑である

③ 表面的である

④ 穏やかである

問 2

文中の空欄

A

B

に入る語として最も適当なものを、次の各群の①～④の中から一つずつ選べ。

A 15

B

16

A

① 取った

② 落とした

③ 切り上げた

④ 重なった

B

① 手

② 指

③ 目

④ 腕

問3 傍線部1「お袋を楽にしてあげたいんですよ」とあるが、このときの清太郎の心情を説明したものとして最も適当なものを、

次の①～④の中から選べ。

17

① 清太郎は母が施設での生活に不満を抱いていることに対して理解しているため、できるだけ早く母を自宅に帰らせたいという親孝行の気持ち。

② 清太郎は施設に入ったことにより妄想で苦しんでいる母を現実に取り戻し、現実に向き合えようと思う気持ち。

③ 清太郎は母の最期が近いと悟っているため、母が後悔を残さず安らかに眠るよう最期の願いを叶えたいという切なさや諦めが入り混じった気持ち。

④ 清太郎は亡き父が母に寄せていた深い愛情を知ったため、父の代わりにその思いを母に伝えることで安らぎを与え、母を慰めてあげたいという切実な気持ち。

問4 傍線部2「僕らの知っている親父とは、まるっきり別人ですよ」とあるが、ここでいう「まるっきり別人」を極端に示す言

葉を、本文中より二〇文字以内で抜粋せよ。

い

問5 傍線部**3**「噛みしめるような気持ちでつぶやいた」とあるが、このときの私の心情を説明したものとして最も適当なものを、

次の①～④の中から一つ選べ。

18

- ① 私は、清太郎の家族の深い絆を知り、嫉妬したため、これ以上はこの家族に対して深入りしたくないと思う気持ち
- ② 私は、清太郎の父からの手紙を待ち続けている母の気持ちを知り、2人の深い愛情に感動したという気持ち
- ③ 私は、清太郎の父が子ども達に内緒で書き続けていたいくつもの母宛ての手紙を読んでしまったため、母に対して心から申し訳ないと思う気持ち
- ④ 私は、施設に入ってからしばらく自宅に帰ることができず清太郎の父にも会えない母の光景が目に見え、とても切ないと思う気持ち

問6 傍線部4「私は想像の翼をはためかせた」とあるが、これはどのようなことか。最も適当なものを、次の①～④の中から

一つ選べ。

19

- ① 清太郎の父が今も生きていると仮定し、父が母にどのような言葉をかけてあげてのだろうかと想像しているということ。
- ② 清太郎の父が今ではもう生きていないという事実を受け止め、父がいる世界はどのようなイメージしているということ。
- ③ 清太郎の父になりきって手紙を書く前に、父が書きそうな字や使いそうな表現を探しているということ。
- ④ 清太郎の父の記憶を辿りながら、父の生き方を心の中で忠実に思い描いているということ。

問7 傍線部5「文字も、年齢と共に変化する」とあるが、この内容を具体的に示す例を一文、本文中より抜粋し、その文頭と

文末を、句読点を含み五文字ずつ記入せよ。

う

問 8

この文章の内容と表現の特徴についての説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

20

- ① 代筆屋の私と客の清太郎との会話を通して、家族の関係性やこれまでの家族の歩みを並行して描き出すことで、時代の移ろいを象徴的に表している。
- ② 高齢期における親子の関係性に焦点を当て、介護といった生活に根ざした問題を通して現代社会が直面する高齢化の深刻さを読者に訴えている。
- ③ 清太郎の父がのこした手紙を通して、清太郎と清太郎の姉がこれまで知らなかった家族の側面を知ること、清太郎の心の内面が変化していく様子を描写しながら、他者理解とは何かを問いかけている。
- ④ 思いやりをもって行動する代筆者の私と、正反対の清太郎の姿を比較して描くことで、人間のエゴがもたらす結末を浮き彫りにしている。

(問題は次のページに続く)

第3問

21

く

24

へに答えよ。

資料 A と資料 B は厚生労働省の「国民生活基礎調査の概況」から抜粋したものである。資料を見て次の各問（解答番号

資料 A

あ

【著作権上の理由等により非公表】

資料 A ・ 資料 B は、厚生労働省の「国民生活基礎調査の概況」より抜粋・引用。

資料B

い

【著作権上の理由等により非公表】

問 1

資料 A と資料 B の

あ

と

い

には、それぞれ資料のタイトルが入る。二つのタイトルの組み合わせとして最も適当

なものを、①～④の中から一つ選べ。

21

- ① 「年齢階級別にみた六五歳以上の者の家族形態」と「高齢者世帯の世帯構造」
- ② 「六五歳以上の者のいる世帯の世帯構造の年次推移」と「世帯数と年齢構成」
- ③ 「年齢階級別にみた六五歳以上の者の家族形態」と「世帯数と年齢構成」
- ④ 「六五歳以上の者のいる世帯の世帯構造の年次推移」と「高齢者世帯の世帯構造」

問2

資料Aから読み取れることとして間違っているものを、次の①～④の中から一つ選べ。

22

① 昭和六一年と比較すると、令和六年においては単独世帯の割合が一九ポイント以上、増加しており、全世帯の中で二番目に割合が高い。

② 昭和六一年と比較すると、令和六年においては三世代世帯の割合が二四ポイント以上、減少しており、全世帯の中で最も低い割合である。

③ 昭和六一年と比較すると、令和六年においては夫婦のみの世帯の割合が二三ポイント以上、増加し、親と未婚の子のみの世帯よりも割合が高くなっている。

④ 昭和六一年と比較すると、令和六年においては親と未婚の子のみの世帯の割合が九ポイント以上、増加し、割合の順位は多い方から三番目である。

問3

資料Bから読み取れることとして間違っているものを、①～④の中から一つ選べ。

23

① 夫婦のみの世帯は全体の約四割を占めており、単独世帯と約九%の差がある。

② 親と未婚の子のみの世帯は、全体の中で最小の割合である。

③ 単独世帯の割合は、全体の過半数で最多である。

④ 男の単独世帯の割合は、女の単独世帯よりも一四%以上、下回る。

問 4

資料 A と資料 B から読み取れることとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

24

- ① 三世代世帯の割合は年々減少しており、全体の約四割を占めている。
- ② 単独世帯は昭和六一年に比べて令和六年において増加傾向であり、全体で最も大きな割合を占めている。
- ③ 夫婦のみの世帯の割合は昭和六一年から令和六年にかけて増加しているが、全体の約四割にとどまっている。
- ④ 親と未婚のみの世帯は昭和六一年に比べて令和五年において増加、令和六年には減少し、全体の世帯の一割未満である。